

編輯室の内外

▽議會で農村問題が論議され、首相が何等かの對策を立て、御審議を願ふことに爲ると言つたので、氣の早い連中は内務省の巨款事業も相當増額さるゝものと合點して

増額運動に熱心なのもある、併し夫れに對する山本内相は、農林の追加豫算が是認されたと言つて、内務が其の尻馬に乗るのは嫌だ、先方から使へと言ふのなら使つてもやるが、俺の方からは要求しない、と、濟ましたもの、之を聞いた連中、何もそう高く留らなくつても可いのに、副總理格の大巨を戴くことは内務行政に百姓の爲にはならぬ、と誰かゞこぼしてゐた。

▽内務省の唐澤土木局長、巨款豫算の内道路事業費が餘り尠いので何とかしなければならぬと、山本内相の腹の中へ伺を立てた、俺は要求はしない、事務の方で出来ることならやつても可い、農林の方を殖やして内務の方へは一瞥も與へないやうな大藏でも無かるう、要求しなくつたつて相當考慮するのが大藏當局としては當然なこと

ぢや。と夫れを聞かされた唐澤局長、關係大臣を訪問して夫れとはなしに話を持ちかけると、そんな話は寢耳に水と言つた調子で、山本内相の腹とは大分違つてゐる、再び何を立てると、豫算が尠くて君には相濟まないが、マーマーには、老人、随分人を喰つてゐる。

▽巨款土木事業費の府縣への配分は、まだ決定しない、氣が氣でない地方廳からは早く決定して呉れと催促してゐるそうだが、農林豫算が決定しない爲にまだ解決しない、大藏當局の方面では軍需工業の爲に二億七千萬圓地方に落ちる勘定だから、軍需工業の盛な關西地方には土木事業費を配當する必要がないと言つて居るとやら、併し關西方面にも七年度から引續いてやつて来た土木事業が澤山あるのに、今夫れを打切るとは投下資本を零にして、結局地方を苦しむることゝ爲るので、矢張り七八兩年度、配當額を標準にして配付するの外ないとは、内務省方面の意見だそうだ、矢張り地方廳を統制してゐるだけに事情に精通してゐると、之は議會方面で大持て。

▽事業費の配當は局内のものを道路課で

統一して配分することに爲つてゐる、河川や港灣の配分額が多ければ多い程、道路費の配當が減る譯だが、地方から東上して来た土木主任官が、道路課に出頭しては、河川や港灣に澤山配當されては道路費が減るから困る、地方土木は道路の改良が第一だから増額されたいと要求し、歸る途中で河川課や港灣課へ顔を出して河川費や港灣費にも澤山配當して呉れと陳情するので、何れが眞の要求か判然しないと言はれてゐるが、尠し頭の悪い連中になると、何れにも、澤山呉れと言つて引き下る想だ。

定價一部 五十錢
一ケ年分 金 六圓

東京市麹町區外櫻田町一番地内務省内
發行所 社団法人 道路改良會
東京市澁谷區幡ヶ谷本町三丁目三五六
編輯者 小島 效
東京市小石川區諏訪町五六
印刷所 常磐印刷所
印刷者 堀江關武